

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	本社棟	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市八幡西区黒崎城石	構造	SRC造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	250 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,840 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年1月 予定	評価の実施日	2013年9月30日
敷地面積	11,500 m ²	作成者	(株)三菱地所設計
建築面積	4,079 m ²	確認日	
延床面積	11,200 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.4

※: 視環境音環境 温熱環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.3

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.5

生物環境 まちなみ 地域性・

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

建物の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		
総合	黒崎副都心地区の再開発に伴い、市民に開かれた施設を整備する増築施設の一部。黒崎地区の潜在的植生を活かした植栽計画とし、通りに沿って市民に開放された緑地を整備した。施設本体は日本古来の伝統的な手法を取り入れ、大きく軒を出すことで熱負荷の低減を図るとともに印象的な外観とした。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
快適な執務空間確保の為、適切な照明計画、換気・空調計画に配慮した。事務室は自然光を積極的に取り入れ、日中は照明を点けずに執務できる環境とし、省エネに配慮した。	事務室は天井高さを4.2Mとし、自然光を積極的に取り入れることで明るく開放的な室内環境を実現した。また、床耐荷重性能を十分に確保し、安全性に配慮した。	周囲の工場や植栽との調和に配慮して、外装計画は落ち着いた色彩があり、かつ明るめの色彩を用いた。また、通りに沿って市民に開放された緑地を整備した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
適切な平面計画、空調エリアの設定により熱負荷を制御した。	節水器具を採用し水資源の保護を行っている。	建物を敷地中央に配置し、境界に沿って森を整備することで、周辺環境への負荷を最大限抑えた計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される